

2017 年 6 月 13 日

住友化学と BASF、新規殺菌剤の開発における グローバルな協力関係の構築に合意

化学分野のリーディングカンパニーである住友化学と BASF は、このたび、農業用の新規殺菌剤の開発において、協力関係を構築することに合意いたしました。両社の革新的な技術で、世界中の農業生産者に画期的な殺菌剤を届けます。

両社は、住友化学が発明した全く新しい化合物を有効成分とする、新たな殺菌剤の開発に取り組みます。本化合物は、既存の殺菌剤に抵抗性を持つものを含む、主要な植物病害に高い効果を示します。

住友化学の代表取締役専務執行役員の西本麗は、ドイツで開催された調印式で次のように述べました。「BASF と協力することで、深刻な植物病害への抵抗性の管理に重要な役割を果たす新規殺菌剤の利用機会を、より多くの農業生産者に提供できると考えています。そして、この協力関係を通じて、持続的な農業に貢献できると確信しています」

今回両社が開発する殺菌剤は、現状では有効な薬剤の選択肢が限られている作物に対して、安定した収穫量を確保するための新たな手段として期待されます。「農業生産者は、食糧や繊維の需要拡大に対応するために、健康に育った作物を安定して供給したいと望んでいます。今回の BASF と住友化学の戦略的な協力関係は、農家にとって有益なソリューションに投資していくという両社のコミットメントを示すものです」と、BASF の農薬事業本部プレジデントであるマルクス・ヘルドは述べています。

住友化学と BASF は、この新たな化合物を両社独自に製剤化して自社の製品ポートフォリオを補完し、それぞれ世界に展開していく考えです。なお、これらの販売は、各国において 2018 年以降に申請する農薬登録および関連当局の承認取得後に開始される予定です。

■住友化学について

住友化学は、石油化学、エネルギー・機能材料、情報電子化学、健康・農業関連事業、医薬品の 5 事業分野にわたり、幅広い産業や人々の暮らしを支える製品をグローバルに供給する日本の総合化学メーカーです。2016 年度の売上高は 1 兆 9543 億円、従業員数は約 3 万 3000 人です。

詳しい情報は、<http://www.sumitomo-chem.co.jp> をご覧ください。

■BASF について

BASF（ビーエーエスエフ）は世界をリードする化学会社（本社：ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン）で、持続可能な将来のために、化学でいい関係をつくります。また、経済的な成功、環境保護、そして社会的責任を同時に実現しています。BASF では、約 114,000 人の社員一人ひとりがほぼすべての産業、ほぼすべての国においてお客様の成功に貢献できるように努めています。製品ポートフォリオは化学品、高性能製品、機能性材料、農業関連製品、石油・ガスの 5 つの部門から成ります。2016 年、BASF は約 580 億ユーロの売上高を達成しました。BASF の詳しい情報は、www.basf.com（英語）、newsroom.basf.com（英語）、www.basf.com/jp（日本語）をご覧ください。

本リリースに関するお問合せ先

BASF ジャパン株式会社
コーポレート・アフェアーズ本部
北原 佳代子
Tel. 03-3796-4974
kayoko.kitahara@basf.com

住友化学株式会社
コーポレートコミュニケーション部
Tel. 03-5543-5102
sumika-kouhou@ya.sumitomo-chem.co.jp